

令和元年度 岸和田市市展委員会 第3回委員会本会 会議録

1. 名称	令和元年度 岸和田市市展委員会 第3回委員会本会
2. 開催日時	令和2年1月17日(金) 午後2時~午後3時
3. 開催場所	岸和田市立文化会館 創作実習室2
4. 公開・非公開の別	公開
5. 出席者	西村委員長、仲村和久委員、稲葉委員、西念委員、仲村松堂委員、掃部委員、川崎委員 以上7名
6. 欠席委員	橋田委員 以上1名
7. 事務局	田中課長、田宮参事、野村主査、中島担当員、清水担当員 以上5名
8. 傍聴者	なし
9. 次第	<ol style="list-style-type: none"> 1. 開会 2. 委員長挨拶 3. 報告 <ol style="list-style-type: none"> (1) 令和元年度 市展受賞作品展について (2) 令和元年度 文化の日祝典について 4. 案件 <ol style="list-style-type: none"> (1) 令和2年度 第71回岸和田市市展について <ol style="list-style-type: none"> ① 染織部門について ② 会期の組合せについて ③ 作品募集要領(案)・書の釈文用紙(案)について ④ 市展委員について ⑤ 解説時間について ⑥ 広報活動について (2) その他 5. 閉会
10. その他	
会議録承認	令和2年2月1日 委員長承認

1. 開会 田中課長より挨拶

2. 委員長挨拶 西村委員長より挨拶（進行）

3. 報告

（1）令和元年度 市展受賞作品展について

事務局から、出品点数・入場者数などを報告。

（2）令和元年度 文化の日祝典について

事務局から、案内送付数、出席者数などを報告。

4. 案件

（1）令和2年度 第71回岸和田市市展について

① 染織部門について

来年度以降、出品数が減少の見込みであり、今後も染織部門を開催できる出品数の確保ができない状態が予想されるため、染織部門を廃止する。

委員長

廃止について意見はあるか。

書部門

昨年度の委員会で、染織部門の委員から、染織の出品数が少ないため「工芸」という部門を新設したらどうかという話が出ていた。染織としての部門は廃止にしても、染織をやっている方はいるし、彫刻など別のジャンルで文化教室や公民館活動に携わっている人もいる。そういったジャンルをまとめて工芸部門を設けるかどうか、事務局で検討してもらいたい。

事務局

事務局と染織部門の委員との協議の場でも、工芸部門について話が出た。ただ、「工芸」としてしまうと、彫刻、タペストリーなど様々なジャンルを受け入れなければならない。どのジャンルがどの程度出品のニーズがあるのか、把握できていない。

陶芸部門

他の公募展や展覧会で「工芸」という部門があれば、どのジャンルを出品対象にしているのか調査すればよいのではないか。

事務局

出品対象の問題以外にも、審査員の先生をどのようにして選ぶかということと、現部門との調整の問題もある。

書部門

他の公募展を調べて、こういったジャンルを工芸部門の出品対象にするか決まってから、審査員をどうするか検討すればよいのではないか。

事務局

現部門との調整もあるため、どの程度までジャンルを広げるか、まずは調査からさせてほしい。事務局としては、すぐにとわず、今後の検討課題として長期的に考えていければと思っている。

陶芸部門

染織がなくなるのはもったいない。出品数が少ないなら、「染織」ではなく、「テキスタイル」という部門にするのはどうか。岸和田を有名にしたコシノ姉妹や、産業高校のデザイン科などもあるので、岸和田独自のジャンルをこの機会に考えてみてもよいのではないか。そうすれば、若い人も出品しやすくなるのではないかと思う。

委員長

他の展覧会の例も見ながら時間を掛けて、また広い視野をもって「工芸」や「テキスタイル」などの部門について今後検討願いたい。

② 会期の組合せについて

今年度と同様、1期 洋画展、2期 写真展、3期 書展・日本画展 4期 陶芸展・俳画展の組み合わせでよいか。

⇒了承

③ 作品募集要領（案）・書の釈文用紙（案）について

募集要領（案）・釈文用紙（案）共に今年度と内容に変更なし。なお、日本画部門について、定義を明確にするため要領（案）の記載変更を前回の委員会で提起したが、日本画の画材等は複雑であり明記が難しいため、来年度は記載の変更を行わないこととする。

⇒了承

④ 市展委員について

・令和2年度本会委員

洋画：仲村和久委員、写真：稲葉委員、書：仲村松堂委員、日本画：掃部委員、陶芸：武井委員

⇒俳画部門は1月末までに事務局に連絡。

・部会委員

洋画、写真、書、日本画、陶芸、俳画がローテーション表（案）どおりで決定。

⇒書部門は、1月末までに事務局に連絡。

⑤ 解説時間について

洋画：15時、写真：15時、書：15時、日本画：15時半、陶芸：15時半、俳画：15時

⑥ 広報活動について

今後の記事掲載予定、募集要領送付予定を報告。

書部門

公民館へ要領は送っているかと思うが、申込書は送っていないのか。

事務局

要領と申込書は冊子で一式になっている。

書部門

学校や全公民館に20部程度募集要領・申込書を送ってあげてほしい。

(2) その他

事務局から事務連絡

日本画門

市展のポスター・ハガキのデザインだが、可愛らしいイラストが入っており、一見市展のポスターだと分からない。大きく「市展」と書いた方が、分かりやすいし目に留まると思う。

書部門

デザインを考えてくれているのはありがたいが、インパクトが弱い。書体も丸みのある細い字でなく、明朝体などのほうが良い。公民館などでは、たくさんのポスターが貼ってあるのでインパクトが強いほうが目立って良い。

委員長

来年度の市展のポスターでは、ぜひこの意見を反映して、インパクトの強いものを作成していただけるよう事務局にお願いしたい。

5. 閉会